国士館100周年創立記念祭

レスリング部

国士舘大学レスリング部の歩み 100周年を迎え

オリンピックメダリスト・金、銅、世界チャンピオン多数を輩出

レスリング部は体育学部新設の昭和33年に初代監督菅原克夫(当時体育学部助手・元東洋大学教授)の 指導のもと活動の産声をあげる。同年、関東学生レスリング連盟に加盟(現・東日本学生レスリング連盟)、 本格的に活動を開始、逞しい素人軍団ではあったが8階級に選手を揃え、5月の関東大学リーグ戦2部リー グに出場を果たし、気合いある試合で他大学を脅かせたデビューを飾る。しかし、武道思考の強い学風のな か異風文化のWrestlingは理解が得られず、加えて部員の不祥事が柴田徳次郎舘長の逆鱗に触れ廃部寸 前になるなど紆余曲折を辿るなか菅原初代監督は意志半ばにして退任、昭和40年4月1日より滝山(体育6 期卒)が指導体制を引き継ぐ、周囲の協力を得る事と、舘長先生の理解を得るために当時の安高武事務局 長常任理事、森秀体育学部学部長、小熊康之学生監のご助力、ご指導を得て舘長先生の理解を得ることに 務め部活動の存続を取り付ける。加えて練習環境の確保に努める。以来長期展望に立ち国際交流(韓国、カ ナダ等)、そして、指導不足を補うために、他大学ことに、当時トップ校であった明治大学の笠原茂教授(メル ボルンオリンピック銀メダリスト)にお願いし、ことあるごとに出稽古をさせて頂き選手育成に努め成果を得 る。

昭和40年からの10年間の活躍は目覚ましいものであり、1972年のミュンヘンオリンピック大会にG74kg級伊達治一郎、G100kg級谷公市の2名を輩出し、新興勢力から名門校へとだっぴを続ける時期であった。いわゆる第一期黄金時代を築いた時期である。1976年のモントリオールオリンピックではF74kg級伊達治一郎が金、F68kg級菅原弥三郎が銅、F57kg級荒井政雄が銅等6人のオリンピック選手を輩出・別紙歴代オリンピック選手一覧を参照。

以下に指導スタッフとしてご尽力された氏名を紹介します。このOBの方は、大半がオリンピック出場に夢をはせた選手である。

岡唯勝(体8期・体育助手)、南治也(政経6期・工学部職員)、伊達治一郎(体15期・体育講師)、菅原弥三郎(体16期・体育助手)、朝倉利夫(体20期・助教授・現監督)、柏木究(体20期・研究助手)、竹島晴夫(体21期・東海大工学部からの学士編入・研究助手)、多賀恒夫(体21期・明治大商学部からの学士編入・研究助手)、屋比久保(体26期・研究助手)、丹治尚弘(体28期・研究助手)、藤田隆和(体30期・研究助手)、藤田で宏(体34期・研究助手)、嘉戸洋(体35期・研究助手)、和田貴広(体35期・研究助手)、横山武典(体37期・研究助手)以上に加え、他多数の方々のご支援ご協力をえたことを付言する。

半世紀においてトップを守り続けられたのは多数の指導者、OB、父兄、支援者の熱い想いを切らせなかったである。また、大学は勿論のこと、体育学部の揺るがない指導体系が現在の隆盛をつかさどっているものと感謝の意を表します。

国士舘大学レスリング部 戦績

歴代オリンピック選手

年度	開催地	選手氏名等								元	出場時
			クラス	氏名		出身県	高等学校		体育期	成績	山場時
1972	ミュンヘン	G	74 kg級	伊達治一郎		大分県	佐伯鶴岡		体育3年	3回戦	(大学3年)
		G	100 kg級	谷	公市	鳥取県	大阪	浪商	体 12 期	4 回戦	和歌山県庁
1976	モントリオール	F	57 kg級	荒井	政雄	山口県	柳井	商工	体 13 期	銅	山口県警
		F	62 kg級	前川	健吉	岩手県	宮古	水産	体 16 期	4 回戦	自衛隊体育学校
		F	68 kg級	菅原弥	尔三郎	秋田県	五块	成 目	体 16 期	鈳	国士大助手
		F	72 kg級	伊達治一郎		大分県	佐伯鶴岡		体 15 期	金	国士大助手
		F	82 kg級	茂木	優	秋田県	秋田	商業	体 15 期	3回戦	秋田商教諭
		G	82 kg級	高西	一宏	徳島県	穴	吹	体 17 期	6位	和歌山県庁
1980	モスクワ	G	52 kg級	朝倉	利夫	鹿児島県	鹿児島	島商工	体 20 期		国士大研究助手
		G	57 kg級	柏木	究	徳島県	池	田	体 20 期		国士大研究助手
		G	82 kg級	高西	一宏	徳島県	穴	吹	体 17 期		和歌山県庁
		F	62 kg級	多賀	恒雄	新潟県	編入((明大)	体 21 期		国士大研究助手
		F	74 kg級	伊達流	台一郎	大分県	佐伯	鶴岡	体 15 期		国士大助手
1984	ロサンゼルス	G	100 kg級	藤田	芳弘	徳島県	穴	吹	体 16 期	8位	和歌山県庁
1988	ソウル	G	130 kg級	ШП	一也	和歌山県	和歌	仏東	体育4年	6位	(大学4年)
1992	バルセロナ	G	68 kg級	森	巧	徳島県	貞光	工業	体 27 期		自衛隊体育学校
1996	アトランタ	F	63 kg級	和田	貴広	鹿児島県	鹿児島	島商工	体 35 期	4位	国士大研究助手
		G	48 kg級	嘉戸	洋	島根県	Ш	本	体 35 期	7位	国士大研究助手
2000	シドニー	F	69 kg級	和田	貴広	鹿児島県	鹿児島	島商工	体 35 期	4位	和歌山県庁
2004	アテネ										



朝倉利夫 体 20 期卒(現 国士舘大学レスリング部部長) 世界選手権大会 金メダル(ユーゴスラヴィア・スコピア) フリー 52kg 全日本選手権大会 9 回優勝



新庄寛和 体 46 期卒 アジア選手権 3 位 (2008 年) グレコローマンスタイル 120kg



鶴巻宰 体 48 期卒 韓国アジア大会 2 位 (2014 年) グレコローマンスタイル 80kg



阿部宏隆 体 57 期卒 天皇杯全日本レスリング選手権大会 2 位(平成 26 年度) フリースタイル 61kg



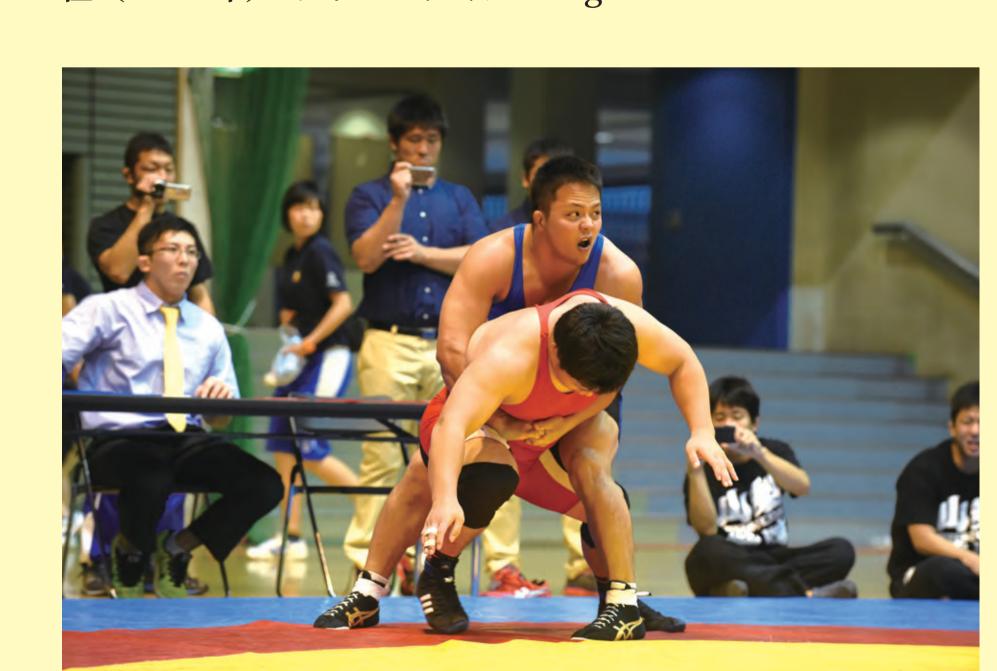
小田裕之 体 52 期卒 中国アジア大会 2 位(2010 年) フリースタイル 60kg



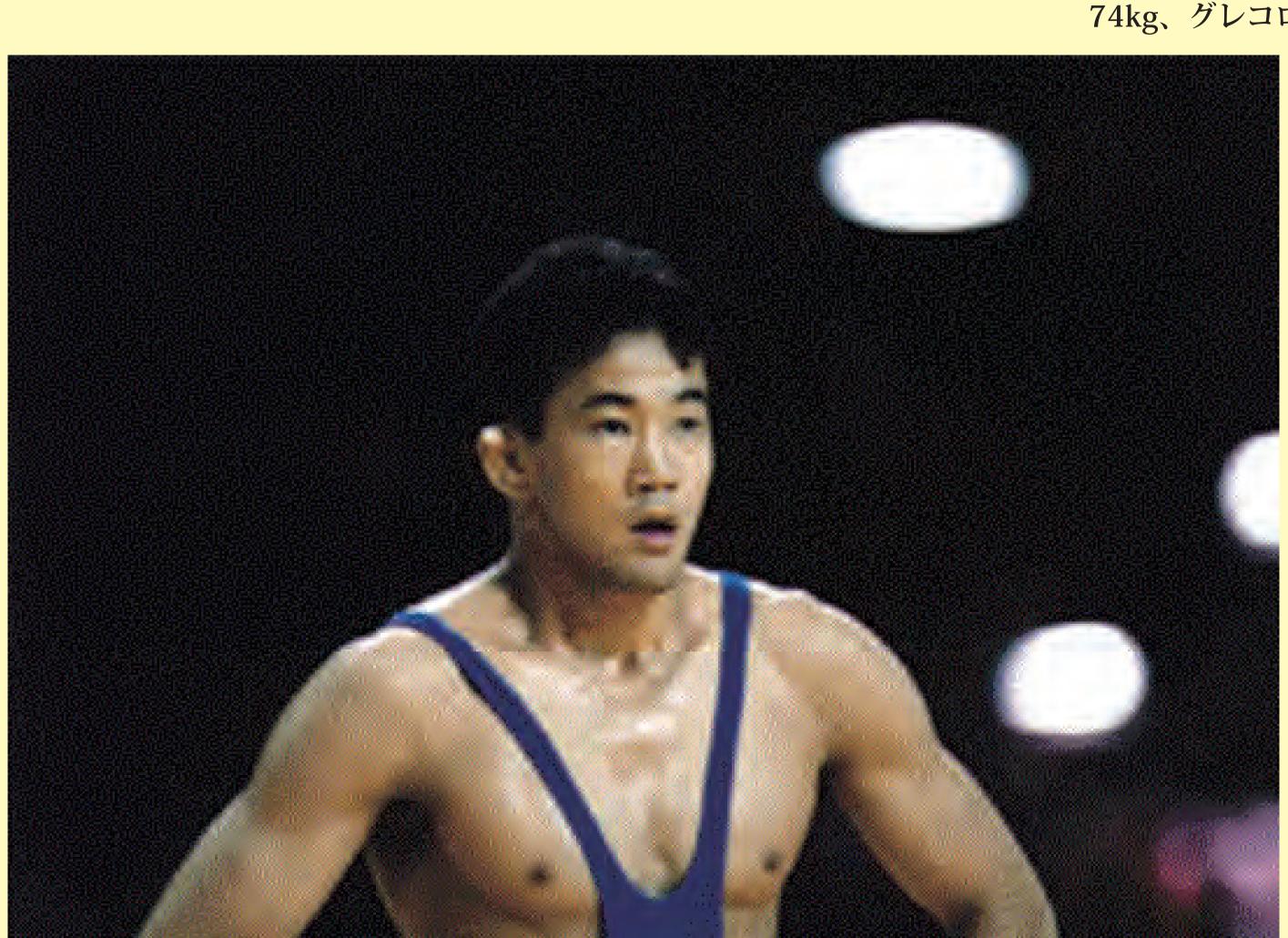
嶋田大育 体 56 期卒 JOC ジュニアオリンピックカップ 優勝(6 連覇) フリースタイル 76kg



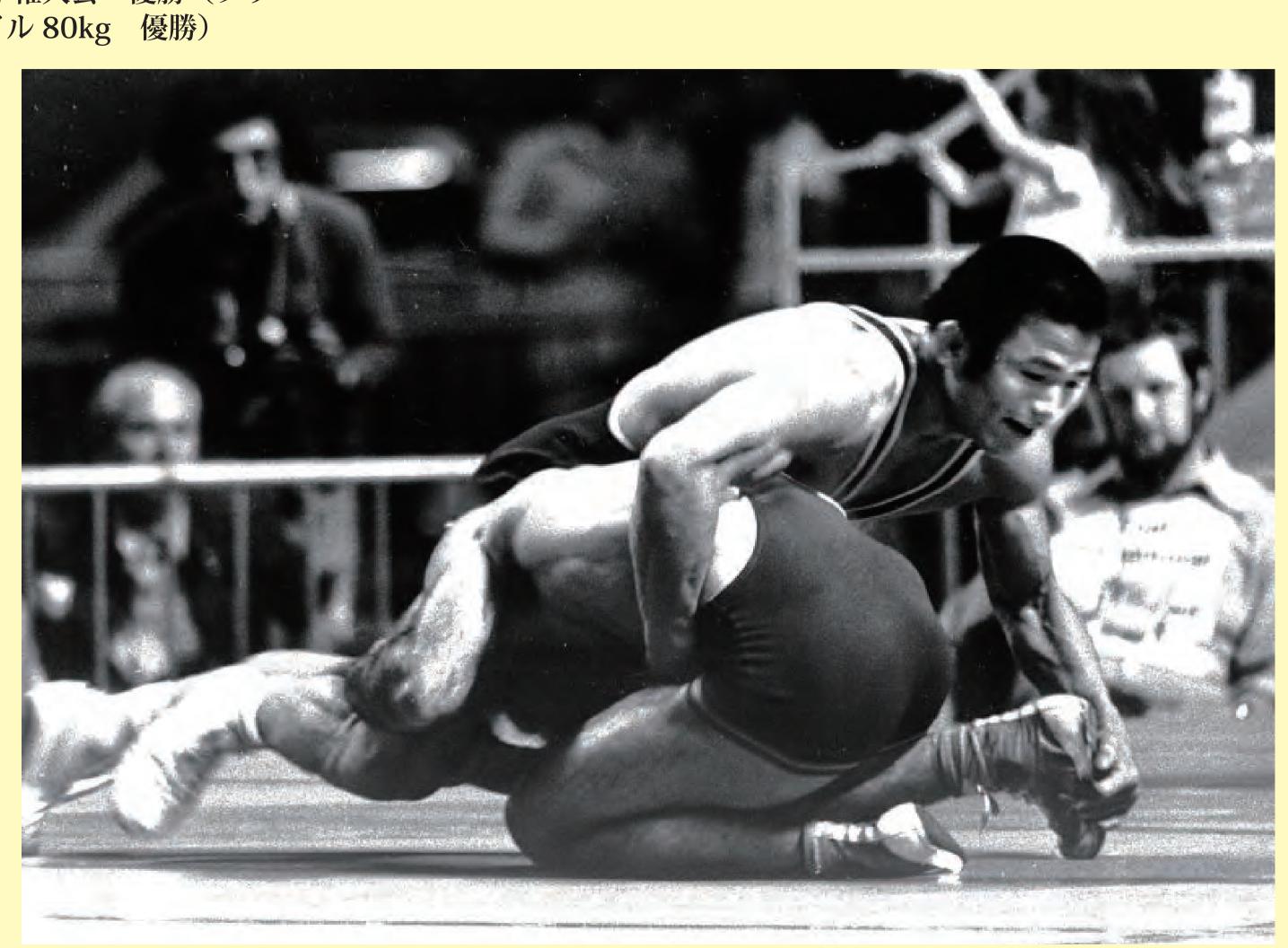
奥井眞生 国士舘大学 3 年 明治杯全日本選抜レスリング選手権大会 優勝(平成 28 年) フリースタイル 74kg 平成 27 年全日本学生レスリング選手権大会 優勝(フリー 74kg、グレコローマンスタイル 80kg 優勝)



志喜屋正明 体 57 期卒 全日本学生レスリング選手権大会 優勝 (平成 27 年) グレコローマンスタイル 98kg



和田貴広 体 35 期卒(現国士舘大学レスリング部監督) 広島アジア大会 優勝(1994 年) フリースタイル 62kg



伊達治一郎 体 15 期卒 モントリオールオリンピック 金メダル(1976 年) フリースタイル 74kg